

教科目名 地理（Geography）

学科名・学年：全学科 3 年

単位数など：必修 2 単位（前期 1 コマ，後期 1 コマ，授業時間 46.5 時間）

担当教員：久保山 力也

授業の概要			
現在の世界を理解するために地形や気候から，人口や民族・宗教など系統地理学，そして地誌学へと繋がっていきます。また主に前期で調査、後期でこれを踏まえた報告を行っていただきます。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(A1)
(1) 世界の地形，気候について理解できる。（定期試験） (2) 世界の生活について理解できる。（定期試験） (3) 世界の地誌について理解できる。（定期試験） (4) 調査を実施し，報告することができる。（実技評価：調査ならびに報告）			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	地形Ⅰ（世界の地形）	○世界の地形を理解できる。	【理解の度合い】
2	地形Ⅱ（河川，海岸，特徴的な地形）	○河川や海岸の地形について理解できる。	
3	調査Ⅰ	○気候の要素・因子について理解できる。	
4	気候Ⅰ（世界の気候）	○気候区分の基準・特色を理解できる。	
5	調査Ⅱ	○地域の気候や生活の特色を理解できる。	
6	気候Ⅱ（気候区分，植生，土壌）	○調査の基礎が理解できる。	
7	調査Ⅲ		
8	気候Ⅲ（各地域の気候と生活）		
9	前期中間試験		【試験の点数】 点
10	生活Ⅰ（人口総論）	○世界の人口問題が理解できる。	【理解の度合い】
11	調査Ⅳ	○世界の生活文化が理解できる。	
12	生活Ⅱ（衣食住，言語，宗教）	○国際問題が理解できる。	
13	調査Ⅴ	○具体的な調査技法が理解できる。	
14	生活Ⅲ（民族，国家，領土問題，国家群）		【試験の点数】 点
15	前期期末試験		
	前期期末試験の解答と解説		
16	地誌Ⅰ（中国）	○中国が抱える諸問題が理解できる。	【理解の度合い】
17	報告Ⅰ	○韓国が抱える諸問題が理解できる。	
18	地誌Ⅱ（韓国）	○東南アジアが抱える諸問題が理解できる。	
19	報告Ⅱ		
20	地誌Ⅲ（東南アジア）	○アフリカが抱える諸問題が理解できる。	
21	報告Ⅲ	○調査に基づく報告ができる。	
22	地誌Ⅳ（アフリカ）		【試験の点数】 点
23	後期中間試験		
24	報告Ⅳ	○EU が抱える諸問題が理解できる。	【理解の度合い】
25	地誌Ⅳ（EU）	○ロシアが抱える諸問題が理解できる。	
26	報告Ⅴ	○アメリカが抱える諸問題が理解できる。	
27	地誌Ⅴ（ロシアと中央アジア）	○調査に基づく報告ができる。	
28	報告Ⅵ		
29	地誌Ⅵ（アメリカ）		
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		講義への主体的な参加を心掛けてください。1 回目に詳しく説明します。	【総合達成度】
教科書		山本正三ほか『新編 詳解地理 B』，『現代地図帳』，二宮書店。	
参考図書		適宜、学修プリントを配布します。	
自学上の注意		学修プリントをきちんと見直してください。	
関連科目		現代社会，政治・経済，日本史，世界史。	
総合評価		【定期試験】達成目標（1）（2）（3）につき 4 回の試験により評価（90%） 【実技試験】達成目標（4）につき、調査ならびに報告により評価（10%） 【合格ライン】総合評価 60 点以上を合格とします。 【再試験】総合評価が 60 点に満たない者に対して実施します。	【総合評価】 点